

令和 8 年度
琉球大学大学院理工学研究科（博士後期課程）
学生募集要項

第 1 期：生産エネルギー工学専攻及び総合智能工学専攻

出 願 期 間	令和 7 年 7 月 3 0 日（水）～8 月 5 日（火）
語学試験、口述試験	令和 7 年 8 月 2 5 日（月）
合 格 者 発 表	令和 7 年 9 月 1 7 日（水）

第 2 期：生産エネルギー工学専攻及び総合智能工学専攻

出 願 期 間	令和 8 年 1 月 5 日（月）～1 月 9 日（金）
語学試験、口述試験	令和 8 年 2 月 5 日（木）
合 格 者 発 表	令和 8 年 2 月 2 6 日（木）

海洋環境学専攻

出 願 期 間	令和 7 年 1 0 月 1 日（水）～1 0 月 7 日（火）
語学試験、口述試験	令和 7 年 1 1 月 5 日（水）
合 格 者 発 表	令和 7 年 1 1 月 2 8 日（金）

※実施方法等に変更が生じた場合には理工学研究科ホームページにて速やかにお知らせしますので、工学部 Web サイト（<https://www.tec.u-ryukyu.ac.jp>）又は理学部 Web サイト（<https://www.sci.u-ryukyu.ac.jp>）で随時確認をお願いします。

令和 7 年 6 月
琉球大学大学院 理工学研究科

目 次

1. 研究科概要	1
2. 募集人員	1
3. 出願資格	2
4. 出願資格審査	3
5. 出願期間	4
6. 出願手続	5
7. 研究指導に関する事前相談	10
8. 試験の日時及び場所	10
9. 選抜方法（入試科目）	11
10. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）	12
11. 合格者発表	13
12. 入学手続等	13
13. 安全保障輸出管理	14
14. 長期履修制度	14
15. 個人情報の取扱い	15
16. 2次募集	15
17. 問い合わせ先	15
18. 入試統計（志願者数、合格者数等）の公開	15

1. 研究科概要

(1) 各専攻の人材の養成及び教育・研究上の目的

専 攻	人材の養成及び教育・研究上の目的
生産エネルギー工学専攻	生産エネルギーに関する学際的・融合的な分野に関する教育・研究を通して、高度な専門的知識と技術を兼ね備えた創造性豊かな技術者・研究者の養成を目的とします。
総合知能工学専攻	社会的ニーズに対応した環境情報工学及び電子情報工学に関連する学際的・融合的な分野に関する教育・研究を通して、高度な専門的知識と技術を兼ね備えた創造性豊かな技術者・研究者の養成を目的とします。
海洋環境学専攻	琉球列島の自然環境の特色を生かし、海洋や島嶼等の地球環境とその根底にある基本原理の理解を目指した教育・研究を通して、広い視野と独創性を有する研究者の養成を目的とします。

(2) 3つのポリシー

- ・入学者受入方針（アドミッションポリシー）
- ・教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
- ・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

上記については、本学公式ホームページの「3つのポリシー」をご覧ください。

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/policy/gra_admission-policy/

2. 募集人員

専 攻 名	講 座 名	募集人員	
生産エネルギー工学専攻	生産開発工学、エネルギー開発工学	第1期3名	第2期1名
総合知能工学専攻	環境情報工学、電子情報工学	第1期2名	第2期1名
海洋環境学専攻	海洋島弧科学、サンゴ礁科学、熱帯生物科学	14名	

3. 出願資格

【一般選抜】

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者若しくは令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者若しくは令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者若しくは令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者若しくは令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者又は令和8年3月31日までに24歳に達する者

【社会人特別選抜】

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者、外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、その後、官・公及び企業等に職員として勤務中であり、勤務成績が優秀であると所属長が認めた者で、在職のまま入学を希望する者
- (2) 大学を卒業した後、又は外国において、学校教育における16年の課程を修了した後、官・公及び企業等に職員として勤務し、その勤務年数の中に大学及び研究機関並びに民間企業等の研究所、その他研究開発の施設において入学した時点で2年

以上研究に従事し、勤務成績が優秀であると所属長が認め、在職のまま入学を希望する者で、研究業績を証明する書類（学術論文、研究報告書、著書、特許等）により本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

【外国人留学生特別選抜】

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は専門職学位に相当する学位を授与された者若しくは、令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した後、大学及び研究機関並びに民間企業等の研究所、その他研究開発の施設において2年以上研究に従事した者で、研究業績を証明する書類（学術論文、研究報告書、著書、特許等）により、本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出願資格審査

一般選抜の出願資格（7）、（8）、社会人特別選抜の（2）、外国人留学生特別選抜の出願資格（2）に該当する者については、出願資格の事前審査を受ける必要があります。次の期限までに各学務係に「入学資格認定願書」、「入学試験出願資格認定検査書」、「研究業績調書」（すべて本研究科所定用紙）に研究業績を証明する書類又は写しを持参か郵送で提出してください。

第1期：生産エネルギー工学専攻、 総合智能工学専攻	第2期：生産エネルギー工学専攻、 総合智能工学専攻
令和7年7月11日（金）17：15 必着	令和7年12月2日（火）17：15 必着
提出先：工学部学務係	
海洋環境学専攻	
令和7年9月3日（水）17：15 必着	
提出先：理学部学務係	

出願資格認定の結果は次の期日までに本人へ通知文書を発送します。

なお、提出された書類はいかなる理由があっても返還しません。

第1期：生産エネルギー工学専攻、 総合知能工学専攻	第2期：生産エネルギー工学専攻、 総合知能工学専攻
令和7年7月28日（月）	令和7年12月24日（水）
海洋環境学専攻	
令和7年9月29日（月）	

5. 出願期間

第1期：生産エネルギー工学専攻、 総合知能工学専攻	第2期：生産エネルギー工学専攻、 総合知能工学専攻
令和7年7月30日（水） ～8月5日（火）17：15必着	令和8年1月5日（月） ～1月9日（金）17：15必着
海洋環境学専攻	
令和7年10月1日（水） ～10月7日（火）17：15必着	

（注意事項）

- ・持参の場合の受付時間は9：00から17：15までです。
（12：00～13：00を除く）
- ・郵送の場合は必ず「書留」とし、上記期日までに必着のこと。なお、受付期間内に
出願書類が到着しない場合は受理しないので、郵便事情を考慮して十分余裕をもっ
て発送してください。
- ・受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・出願書類の偽造や内容の改ざん、記載と相違する事実が判明した場合は、入学後で
あっても入学の許可を取り消すことがあります。

6. 出願手続

(1) 出願書類

出 願 書 類	摘 要
入 学 志 願 書	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。
受験票・写真票	写真票の写真は、正面上半身脱帽（縦4 cm×横3 cm）で出願以前3ヶ月以内に撮影したものを使用してください。
修士課程修了（修了見込み）証明書または資格認定書	出身大学長（研究科長）が作成したもの（ただし、本研究科博士前期課程を修了見込みの者については、提出を要しない）、又は本研究科が作成した資格認定書が必要です。
研究（希望）計画書	本研究科所定の用紙に希望する研究テーマまたは分野について、目的又は構想について研究指導を希望する教員と相談のうえ、1,000字（英語の場合は、500 words）以内で記入してください。
検定料納入証明書等 （大学用）	検定料 30,000円（別添の「検定料振込書」を使用してください） 検定料振込期間 ★生産エネルギー工学専攻及び総合知能工学専攻 第1期：令和7年7月29日(火)～8月5日(火) 第2期：令和8年1月 5日(月)～1月9日(金) ★海洋環境学専攻 令和7年9月30日(火)～10月7日(火) ※以下の者は、検定料は不要です。 ① 国費外国人留学生 ② 令和8年3月に本学大学院（博士前期課程・修士課程）を修了し、引き続き理工学研究科博士後期課程に進学する者 1. 振込方法 振込は、a. 銀行窓口、b. A T M又はインターネットバンキングを利用することができます。なお、振込の際には金額の誤りに十分ご注意ください。 また、振込手数料については、志願者本人負担となります。 a. 銀行窓口 ・ 検定料振込書に必要事項を記入のうえ、検定料振込書に記載の「記入上の注意」をよく読み、最寄りの金融機関から振り込んでください。 ・ 氏名を記入した「<u>検定料納入証明書（大学提出用）*1</u>」の原本を出願書類に同封して提出してください。

検定料納入証明書等
(大学用)

*1「検定料納入証明書（大学提出用）」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印が押印されていること。

b. A T M又はインターネットバンキング

※A T M利用の場合はキャッシュカードを利用し振り込んでください。
・振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分（生産エネルギー工学専攻及び総合知能工学専攻は7 5 1、海洋環境学専攻は7 3 1）を入力してください。

例)	7	5	1	タ	ゝ	イ	カ	ゝ	ク	タ	ロ	ウ
例)	7	3	1	タ	ゝ	イ	カ	ゝ	ク	タ	ロ	ウ

・氏名を記入した「検定料納入証明書（大学提出用）*1」の原本及び「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し*2」を出願書類に同封して提出してください。

*1「検定料納入証明書（大学提出用）」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印は必要ありません。

*2「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」の裏面に募集区分（生産エネルギー工学専攻及び総合知能工学専攻は7 5 1、海洋環境学専攻は7 3 1）・氏名を記入してください。

～海外からの支払いを希望する方へ～

～How to Pay Student Fees from Overseas～

本学においては、海外からの学納金収納サービス（Convera GlobalPay）を導入しております。海外からの支払いを希望する方は、下記サイトにアクセスし、必要事項を入力の上、検定料の支払いを行ってください。

Convera GlobalPay for Students:

<https://students.convera.com/ryukyuac.jp>

二次元コード

なお、当該サービスを利用する場合は、送金に時間を要することがありますので、納入期日に余裕をもって送金してください。

詳しくは、大学ホームページ内「How to Pay Student Fees from Overseas」をご覧ください。

For more details, please see "How to Pay Student Fees from Overseas" on the university website.

琉球大学ホームページ（授業料等）:

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/fee/>

二次元コード

検定料納入証明書等 (大学用)	2. 留意事項 ア. 検定料が振り込まれていない場合、「検定料納入証明書 (大学用)」が出願書類に同封されていない場合、a. 銀行窓口利用で「検定料納入証明書 (大学用)」に取扱金融機関収納印がない場合及び b. A T M又はインターネットバンキング利用で「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」が出願書類に同封されていない場合は、出願書類を受理しません。 イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 ① 検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合 (出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかったりした場合)。 ② 誤って検定料を二重に振り込んだ場合。 ③ 特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合。 ※上記①、②に該当する場合は、返還手続きが必要となります。返還手続きはWEB 上での登録となります。以下の二次元コード，URL から申請を行ってください。 二次元コード  検定料払戻：請求受付 URL：https://forms.office.com/r/5WGkRXi4Qc ※返還には請求情報登録後，1 ヶ月程度かかります。 申請期限：令和 8 年 3 月 3 1 日 (火) お問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原 1 番地 国立大学法人琉球大学 財務部経理課収入・支出係 (大学本部棟 2 階) TEL 098-895-8058 (直通) ※上記③に該当する場合は下段の (3) ③の手続を行ってください。
返信用封筒 (受験票送付用)	受験票の郵送を希望する者は、長 3 封筒 (縦 2 3 cm×横 1 2 cm) に 4 1 0 円分切手(速達)を貼付し、志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出してください。
在留資格を 証明するもの (外国籍の者のみ)	日本国内に居住している者は、入国査証 (visa) の写し、住民票の写し (市区町村長発行。記載事項の省略が無いもの。) 等を提出してください。 日本国内に居住していない者は、「入国カード」の写し又は旅券 (パスポート) 等の写しを提出してください。

職 務 経 歴 書	社会人特別選抜で出願する者は、本研究科所定の用紙に、職務内容、学術論文、研究報告書、著書、特許、実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。
推 薦 書	社会人特別選抜で出願する者は、本研究科所定の用紙に、勤務先の所属長等が作成したものを提出してください。
成 績 証 明 書	出身大学長（研究科長）が作成したものを提出してください。
修士学位論文の要旨 又は 修士学位論文計画書	選抜方法を問わず、国内外において修士の学位を授与された者及び修士の学位に相当する学位を有する者は、修士論文要旨を本研究科所定の用紙に2,000字（英語の場合は700 words）以内で記入してください。 令和8年3月修了見込みの者及び修士の学位に相当する学位を授与される見込みの者は、本研究科所定の用紙に研究テーマ及び研究計画を2,000字（英語の場合は700 words）以内で記入してください。 なお、関連する論文、学術講演、特許等がある場合はその写しを添付してください。
志 願 者 整 理 票	本学所定の志願者整理票に記入のうえ提出してください。

- ※本研究科所定の用紙に記入の際は、パソコン等を用いて差し支えありません。
- ※入学志願書で届け出た連絡受信場所、あるいは志願者整理票で届け出た合格通知書、入学手続書類の送付先が変更になった場合は、速やかに当該学部（下記出願書類の提出先を参照）へ連絡してください。

（２）提出先

	生産エネルギー工学専攻、 総合知能工学専攻	海洋環境学専攻
郵便番号	〒903-0213	〒903-0213
住 所	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
担 当	琉球大学工学部 学務係	琉球大学理学部 学務係
電 話	098-895-8583（直通）	098-895-8595（直通）
E-mail	kkgakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp	rggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

(3) 災害等による入学検定料の特例措置

琉球大学では、令和8年度の大学院入学者選抜に関して、文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施することとしましたのでお知らせします。

①措置内容

検定料の免除： 30,000円

②免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類（写し）
1) 災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
2) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

●文部科学省から配慮依頼がある災害等

- ・東日本大震災関連情報：文部科学省 HP
(https://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/)
- ・熊本県熊本地方を震源とする地震について：文部科学省 HP
(https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm)
- ・その他の災害：文部科学省 HP
(https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm)

③申請の方法 申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、罹災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

④検定料を誤って納入した場合

本特例措置に該当するにも関わらず、誤って納入した検定料の返還を希望する場合は、WEB上での登録に加え、本学所定の様式「免除申請書」及び「罹災証明書（写し）等」を下記送付先へ提出してください。申請後、検定料を返還します。

※返還手続きはWEB上での登録となります。以下の二次元コード、URLから申請を行ってください。返還には請求情報登録後、1ヶ月程度かかります。

URL : <https://forms.office.com/r/5WGkRXi4Qc>

二次元コード



申請期限：令和8年3月31日（火）

お問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

国立大学法人琉球大学 財務部経理課収入・支出係
(大学本部棟2階)

TEL 098-895-8058 (直通)

送付先：(生産エネルギー工学専攻・総合知能工学専攻)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

国立大学法人琉球大学 琉球大学工学部 学務係

TEL 098-895-8583 (直通)

(海洋環境学専攻)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

国立大学法人琉球大学 琉球大学理学部 学務係

TEL 098-895-8595 (直通)

7. 研究指導に関する事前相談

出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り、研究内容等について相談のうえ出願書類を提出してください。

8. 試験の日時及び場所

(1) 第1期：生産エネルギー工学専攻、総合知能工学専攻

令和7年8月25日（月）	語学試験 (英語又は日本語)	10:00～ 11:00	試験室等については、8月22日（金）15:00までに工学部1号館講義棟玄関前に掲示。
	口述試験	13:30～	

※試験開始後30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は、8月29日（金）に試験を行います。

(2) 第2期：生産エネルギー工学専攻、総合知能工学専攻

令和8年2月5日（木）	語学試験 （英語又は日本語）	10：00～ 11：00	試験室等については、 前日15：00までに工 学部1号館講義棟玄関 前に掲示。
	口述試験	13：30～	

※試験開始後30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

(3) 海洋環境学専攻

令和7年11月5日（水）	語学試験 （英語又は日本語）	10：00～ 11：00	試験室等については、 前日15：00までに理 学部本館玄関前に掲示 します。 なお、志願者多数の場 合、語学試験及び口述試 験の試験開始時間を 10：00以降で割り振 ることがあります。
	口述試験	13：30～	

※試験開始後30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

9. 選抜方法（入試科目）

(1) 選抜方法の内容

①一般選抜

学力検査、書類審査を実施し、総合して選考します。

学力検査は、語学試験（英語）及び口述試験により行います。

ただし、本研究科博士前期課程からの進学希望者（令和8年3月修了見込者）につい
ては、語学試験を免除します。

②社会人特別選抜

学力検査、書類審査を実施し、総合して選考します。

学力検査は、口述試験により行います。

③外国人留学生特別選抜

学力検査、書類審査を実施し、総合して選考します。

学力検査は、語学試験（日本語）及び口述試験により行います。

(2) 口述試験の内容

- ①一般選抜における口述試験は、修士論文又はそれに相当する研究成果、志望する研究
分野に関する科目、入学後の研究計画等について行います。

②社会人特別選抜における口述試験は、修士論文又はそれに相当する研究成果、志望する研究分野に関する科目、研究経歴、入学後の研究計画等について行います。

また、研究計画書及び職務経歴書について試問します。

③外国人留学生特別選抜における口述試験は、修士論文又はそれに相当する研究成果、志望する研究分野に関する科目、入学後の研究計画等について行います。

※上記①～③の口述試験では、前半に受験生が液晶プロジェクター等を用いて修士論文等に関する研究成果や入学後の研究計画等を説明し、後半に上記で指定する各項目について試問することになるので、発表用電子ファイルをノートパソコンに保存して持参してください。口述試験における説明時間や試問時間の詳細は、各受験生から希望指導教員へ個別に問い合わせてください。

10. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。「検討結果通知書」の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには2～3週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いします。

受験時に限らず、入学後における修学上の配慮希望については、随時相談を受け付けておりますので、以下の連絡先までご相談ください。

（1）申請期限

申込期限は、出願開始日を含めない2週間前の日（消印有効）とします。

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。

※なお、申請期限後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、受験上の配慮を希望する場合は、問い合わせ先までご相談ください。

（2）申請方法

以下の書類を障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

- ①「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）
- ②「医師からの意見書」（本学指定の様式）
- ③その他検討する際に必要な参考資料

上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ
(<https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>)「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

全保連ステーション（大学会館）2階 琉球大学障がい学生支援室

（電話） 098-895-8750

（FAX）098-895-8791

（E-mail）g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

11. 合格者発表

各専攻とも次のとおり発表するとともに、合格者には合格通知書を送付します。不合格者への通知は行いません。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

生産エネルギー工学専攻 総合智能工学専攻	第1期	令和7年9月17日（水） 11：00頃	工学部1号館事務室前に掲示するとともに、琉球大学理工学研究科ホームページ（琉球大学工学部ホームページ内）に掲載します。
	第2期	令和8年2月26日（木） 11：00頃	
海洋環境学専攻		令和7年11月28日（金） 11：00頃	理学部本館玄関前に掲示するとともに、琉球大学理工学研究科ホームページ（琉球大学理学部ホームページ内）に掲載します。

12. 入学手続等

（1）入学手続期間

入学手続期間等については、令和8年3月下旬を予定しております。

（2）入学料及び授業料

詳細は入学手続案内で通知します。

入学料 282,000円（予定額）

授業料（前期分） 267,900円（年額 535,800円）（予定額）

- （注）①上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。
- ②授業料については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。
- ③琉球大学には入学料の免除又は徴収猶予、あるいは授業料の全額又は半額を免除する制度があります。対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。また、所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の徴収を猶予します。
- ④国費外国人留学生及び令和 8 年 3 月に本学大学院（博士前期課程・修士課程）を修了し、引き続き理工学研究科博士後期課程に進学する者の入学料は徴収しません。
- ⑤入学手続きの詳細については、別途合格者に対して「入学手続案内」を送付します。

13. 安全保障輸出管理

琉球大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「国立大学法人琉球大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、外国人留学生の方はなるべく出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取るようになしてください。

14. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長 6 年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の 3 年間（6 学期）の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、事前に希望指導教員に長期履修の必要性を説明し、履修計画を相談後、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

15. 個人情報の取扱い

本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生遠考など、修学支援に関わる業務で利用します。
- (5) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は勤務先等に通知する場合に利用します。
- (6) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び個人情報の保護に関する法律第18条、第27条及び第28条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

16. 2次募集

合格者が募集人員に満たない場合は、追加募集を実施する場合があります。

17. 問い合わせ先

	生産エネルギー工学専攻 総合知能工学専攻	海洋環境学専攻
担 当	琉球大学工学部 学務係	琉球大学理学部 学務係
電 話	098-895-8583 (直通)	098-895-8595 (直通)
E-mail	kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp	rggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

18. 入試統計（志願者数、合格者数等）の公開

入試に関する統計を以下より公開しています。

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/>